

北海道乳牛産地情報

(令和8年7月1日現在)

事務所	畜種	相場（万円）	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	25～35	横這い	札幌管内における6月中旬までの生乳生産量の前年比は、函館管内が月計93.2%、累計94.1%、苫小牧管内が月計94.7%、累計94.8%となっております。 7月の初妊牛につきましては、9月下旬～10月中旬分娩が中心となります。秋口分娩予定牛の出回りが増加する一方、夏場の輸送リスクを考慮した買い控えや、道内外における購買意欲の低下が見込まれることから、相場は引き続き軟調に推移するものと見込まれます。経産牛および育成牛につきましては、先月同様、横ばいで推移するものと見込まれます。出回り頭数は少ない地域ではありますが、優良牛や高能力牛を取り揃えておりますので、ご希望がございましたらお問い合わせください。
	初妊牛	53～63	弱含み	
	経産牛	45～55	横這い	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	25～35	横這い	根釧管内における6月中旬までの生乳生産量の前年比は、釧路管内が月計97.6%、累計98.3%、中標津管内が月計98.0%、累計98.7%となっております。 7月の初妊牛につきましては、9月下旬～10月中旬分娩が中心となります。夏場の輸送リスクを考慮し、引き合いは弱まると予想されることから、価格は弱含みで推移するものと見込まれます。腹別では、F1腹および和牛受精卵移植腹はやや堅調に推移する見込みです。雌雄選別腹につきましては、資源頭数の減少により、F1腹との価格差が縮小しております。経産牛につきましては、即戦力となる牛への需要が引き続き強く、高値で推移するものと見込まれます。育成牛につきましては、夏生まれ牛の出回りが増加する時期となりますが、一定の需要が見込まれることから、横ばいで推移するものと見込まれます。
	初妊牛	53～63	弱含み	
	経産牛	45～55	横這い	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	30～40	横這い	帯広管内における6月中旬までの生乳生産量の前年比は、月計97.9%、累計98.4%となっております。 7月の初妊牛につきましては、9月下旬～10月中旬分娩が中心となります。授精時期の偏りにより秋分娩予定牛の頭数が多く、出回り資源は豊富と見込まれます。また、夏場の導入リスクを考慮した導入意欲の低下が予想されることから、価格は弱含みで推移するものと見込まれます。経産牛につきましては、相場は徐々に落ち着きを見せており、7月は弱含みで推移する見込みです。一方で、道内からの引き合いは依然として強く、前年を上回る水準で取引されております。育成牛につきましては、道内需要が堅調であることから、横ばいで推移するものと見込まれます。
	初妊牛	53～63	弱含み	
	経産牛	50～60	弱含み	
道北管内	育成牛(10-12月令)	25～35	横這い	道北管内における6月中旬までの生乳生産量の前年比は、稚内管内が月計97.5%、累計99.1%、北見管内が月計99.3%、累計99.6%となっております。 7月の初妊牛につきましては、9月下旬～10月中旬分娩が中心となります。授精時期のずれ込みにより秋分娩予定牛の資源が潤沢であることから、相場は弱含みで推移するものと見込まれます。また、管内では雌雄判別精液の利用が多いことから、今後は雌雄選別腹の資源も増加するものと見込まれます。育成牛につきましては、出回り頭数が前年より少なく需給のバランスが取れていることから、価格は横ばいで推移するものと見込まれます。経産牛につきましては、道内から即戦力としての需要が引き続きあることから、価格は横ばいで推移するものと見込まれます。
	初妊牛	50～60	弱含み	
	経産牛	40～50	横這い	
道内総括	育成牛(10-12月令)	30～40	横這い	道内全体における6月中旬までの生乳生産量の前年比は、月計97.8%、累計98.4%となっております。 7月の初妊牛につきましては、秋口分娩予定牛の取引が中心となります。夏場の輸送となることから、例年どおり都府県の需要は落ち着く一方、授精時期の偏りにより出回り頭数は増加する見込みであることから、相場は弱含みで推移するものと見込まれます。育成牛につきましては、引き続き道内の出回り資源が限られていることから一定の需要が見込まれ、相場は横ばいで推移するものと見込まれます。また、経産牛につきましては、道内から即戦力としての引き合いが引き続き強く、庭先購買においても高い水準で取引されるものと見込まれます。
	初妊牛	53～63	弱含み	
	経産牛	45～55	横這い	

＊上記相場は、血統登録牛（中クラス）の庭先選畜購買による予想相場です。

全国酪農業協同組合連合会（全酪連）

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

札幌支所

☎011-241-0765

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

《各事務所電話番号》
釧路事務所 ☎(0154)52-1232
根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877
帯広事務所 ☎(0155)37-6051
道北事務所 ☎(01654)2-2368